

THE 市町支援通信

～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

あすなる学園市町支援課は、
途切れのない支援システムの構築を推進しています。

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援を目指し、あすなる学園は多くの市町と共働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ① 発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）・機能の設置
- ② 「CLM（チェックリスト in 三重）と個別の指導計画」による保育所・幼稚園での早期発見・支援 *CLMは、子どもの育ちを見極め、適切な支援を行うためのツールです
- ③ みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

三重県子ども・家庭局長 からのメッセージ

皆様には、本県の子ども・家庭政策の推進に、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

県では、「三重県こども心身発達医療センター（仮称）」の整備を推進するとともに、地域における発達支援体制を構築するため、今年度、子ども・家庭局内に発達支援体制推進プロジェクトチーム（PT）を新設しました。

PTでは、新センター建設に向けた詳細設計を進める一方で、市町の皆様と途切れのない発達支援システムを構築していくために、圏域別に情報交換会を開催したり、担当課を訪問して、現状をお聞かせいただくとともに、「CLMと個別の指導計画」の導入など県の取組について意見交換をさせていただいています。

また、今年度の新たな取組として、「CLMと個別の指導計画」が小学校に引き継がれ、就学後においても途切れのない支援が継続されることをめざして、小学校のモデル校における導入事業を実施しているところです。

皆様のご協力により、途切れのない支援システムが着実に整いつつありますが、新センターにおける地域支援の在り方や、医療機関等関係機関との連携、学齢期以後の支援への継続など、まだまだ解決すべき課題があると考えています。今後も、皆様との対話を大切にしながら、本県における途切れのない支援システムの構築に向けて取り組んでいきたいと考えておりますので、引き続きよろしく願いいたします。



平成26年10月

三重県健康福祉部子ども・家庭局長 西城 昭二

本年度4月1日

熊野市に「こども発達支援室」が創設されました！

～途切れのない支援を目指して～

熊野市における子どもの発達に係る相談・支援は、これまで、福祉事務所（福祉分野）、健康・長寿課（保健分野）、教育委員会（教育分野）に分かれ、各部署において個別の対応がなされてきました。

しかし、的確な支援を行うためには、相談された内容だけでなく、子どもを取り巻く環境や将来を見据えての総合的かつ途切れのない支援が必要となっています。

このようなことから、本市では平成26年4月1日、福祉事務所に「こども発達支援室」を創設し、子どもに関する相談窓口を一元化する体制を整えました。

室には、室長（保健師）1名、家庭児童相談員（教育職1名、保育職1名）2名、女性相談員1名を配置しています。職員同士が情報を共有し、一つのチームとしてそれぞれの専門性を生かした対応を行っていることがこの室の大きな特徴となっています。また、子どもの学年や在籍機関が変わっても今まで行われてきた支援がスムーズに引き継いでいかれるよう、丁寧なかかわりを持つことを大切にしております。

子どものことで困ったときは、「こども発達支援室に相談してみよう」と気軽に思っただけのような相談機関を目指してまいります。



みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修 後半へ

三重県では、発達障がい児を早期に発見し、成長過程に応じた、適切な途切れのない支援を行うため、市町が派遣した職員（保健師・保育士・教員）に対して、あすなる学園での実習を中心とした「みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修」を実施しています。

今年度の研修も後半に入り、研修者は病棟や外来療育でリーダーやサブリーダーの役割、また、担当児の支援プログラムの作成・展開、分校研修などを中心に日々学びを深めています。

これらの研修を通して、子どもの姿を観察したことに基づいて活動のねらいを考え、職員と活動の説明や展開の事前練習をしたうえで、当日実際の活動を実施し、活動後は振り返りをします。このように、「アセスメント→計画→実施→評価」を日々繰り返しています。

また、今年度より、児童福祉に関する指定講習会と児童相談所での実習、肢体不自由の基本（草の実リハビリテーションセンター）、ことば・聞こえの相談支援（児童相談センター）を研修に取り入れました。

★★市町の子ども問題の駆け込み寺である発達総合支援室の核となる人材としての専門性を高めています★★



あすなる学園市町支援課職員との事前練習



草の実リハビリテーションセンターでの研修

ザ・夏

途切れのない発達支援研修会

多数のご参加、ありがとうございました！！

平成26年8月27日（水）、三重県総合文化センター中ホールにて『ザ・夏 途切れのない発達支援研修会』を開催し、保健・福祉・教育等の子どもの支援に関わる方を中心に373名の方にご参加いただきました。



講演①「三重県の発達支援システム

～『CLMと個別の指導計画』を中心に～

講師：あすなる学園こどもの発達総合支援室市町支援課

中村 みゆき

講演②「発達に課題のある子の“個”を生かす」

講師：あすなる学園こどもの発達総合支援室市町支援課

北森 敬子

各市町の支援アイテム展示コーナーでは、開場前や休憩時には沢山の人で賑わい、アイテムを手に取り、大変熱心に見ていただきました。また、『THE市町支援通信』のバックナンバーを提示し、平成19年度から今に至るまでの「途切れのない発達支援システム」の構築にかかるトピックスを一挙ご紹介しました。



アンケートにお寄せいただいたご意見・ご感想をいくつか紹介します

・この研修会の間、個としての一人が、幼児期から社会に出て生きていくまでのイメージを持って聞かせていただくことができました。とても素敵な時間でした。

(津市 小学校教諭)

・目標を分かりやすく、短期間に・・・ということがしているようでまだまだ曖昧さがあったと思うので、是非取り組んでいきたいと思いました。(津市 保育士)

・保育者、教育者の『子どもの特性を観察、理解できる力』と『要因や気持ちの理解を考える力』をつけることがとても重要だとあらためて感じました。日頃から考え、力量をつけていきたいと思います。(鈴鹿市 幼稚園教諭)



・自分の考えや手立てを見直すいい機会になり、今後の業務に活かしたいと思いました。

『アドバイザーとして今何ができるのか?』現場の先生方、保護者の方々の伴走者として、一人一人の先生方、保護者、子どもたちと歩んでいきたいと強く思いました。

(みえ発達障がい支援システムアドバイザー)

学会を通して全国へ発信中！～三重県の途切れのない発達支援システム～

第55回日本児童青年精神医学会総会（10/11～10/13 浜松）において「あすなる学園を中心とした三重県の発達支援～地域支援から入院治療へ、そして地域支援へ～」と題し、志摩市ふくし総合支援室と連携して入院治療と地域支援を行った事例について、志摩市の谷礼子アドバイザーが報告しました。入院治療と連動したみえ発達障がい支援システムアドバイザーの活躍に感銘を受けられた参加者から、「途切れなく支援を引き継ぐことのできるシステムが素晴らしい」「核となる人材を育成することの効果は大きい。予算はどこが出しているのか」など、三重県の取り組みに多くの関心が寄せられました。



また、一般社団法人日本LD学会第23回大会（11/23～11/24 大阪）において、『CLMと個別の指導計画』を活用した発達支援～気になる子も過ごしやすい保育所・幼稚園・小学校での効果的な支援～と題して、シンポジウムで報告を行う予定です。東員町発達支援室の木村真清美アドバイザーと津市立香良洲小学校の前野文子教諭が保育所・幼稚園・小学校での取り組みを報告します。



インフォメーション

「CLMと個別の指導計画」を活用した発達支援の実践報告会

【日時】平成26年11月15日（土）

10:00～16:20（9:00～受付・開場）

【場所】三重県総合文化センター 中ホール

【対象】保育士、教員（幼稚園・小学校等）、関係行政職員（保健・福祉・教育等）

【内容】県内外の保育所、幼稚園での「CLMと個別の指導計画」を活用した実践例の報告

【申込】「参加申込書兼同意書」に必要事項を明記の上、あすなる学園市町支援課宛、
郵送またはFAXにてお申込みください。

【締切】~~平成26年10月24日（金）~~ ※締切日を過ぎていますが定員まで少し余裕があります。

平成26年11月10日（月）までにお申し込みください。

*「参加申込書兼同意書」はあすなる学園のホームページがダウンロードできます。
ダウンロードできない場合は、あすなる学園市町支援課（TEL:059-234-8700）に
ご連絡ください。

2014年10月30日

<発行> 三重県立小児心療センター あすなる学園 広報担当：こどもの発達総合支援室 市町支援課
〒514-0818 三重県津市城山1-12-3 TEL:059-234-8700 FAX:059-234-9361
MAIL: asunaro@pref.mie.jp URL: http://www.pref.mie.lg.jp/ASUNARO/HP/